

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	C22042
課題名	保険薬局からの臨床検査値に基づく疑義照会が患者アウトカムに与える影響
研究期間	西暦 2022 年 7 月 20 日 ～ 2023 年 3 月 31 日
研究の対象	2015 年から 2020 年までの間に旭川医科大学病院で発行した院外処方箋を旭薬みどりがおか薬局に持ち込み、調剤を受けた方（ただし疑義照会があった場合に限り）
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：処方箋、臨床検査値、疑義照会記録等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
外部への試料・情報提供	<input type="checkbox"/> 自施設のみで利用 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内（提供先：旭川医科大学病院） （提供方法：旭薬みどりがおか薬局より、個人を特定できない状態となった集計結果のみが研究者に提供されます。個人を特定することのできる対応表は旭薬みどりがおか薬局の研究責任者が当該薬局内で保管・管理します。） <input type="checkbox"/> その他（提供先： ）（提供方法： ）
研究組織	旭薬みどりがおか薬局 研究責任者 渡邊大貴 旭川医科大学病院 研究責任者 神山直也（臨床研究支援センター）
研究の意義、目的	保険薬局では病院と異なり、患者の臨床検査値を確認することが困難です。しかし、薬物療法の安全性の確保の為に臨床検査値の確認が重要です。旭川医科大学病院では 2017 年 2 月より院外処方箋に臨床検査値の印字ならびに QR コードでの提供が開始されています。臨床検査値情報の提供による有用性はこれまでも他施設での研究報告がありますが、薬局からの疑義照会を行った後の臨床検査値についての検討は行われていません。そこで今回、旭川医科大学病院の処方箋を受け取った薬局の疑義照会記録を後ろ向きに調査することで、院外処方箋臨床検査値 QR コードの活用による疑義照会の処方変更とその後の臨床検査値の改善状況を検討することとしました。
研究の方法	旭薬みどりがおか薬局に蓄積されている旭川医科大学病院からの処方情報ならびに QR コードで読み取った臨床検査値情報と疑義照会記録を後ろ向きに集計します。また、臨床検査値印字前後の疑義照会件数や割合を比較します。
その他	該当なし
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報がこの研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

旭川医科大学病院 臨床研究支援センター

〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1

電話：0166-68-2883

研究代表者：神山直也